

「心に残る文化財子ども塾」指導案

日 時：令和7年6月11日（水）
 3～4校時（10:30～12:10）
 場 所：益田養護学校中学部2・3年
 対 象：同生徒5名
 指導者：益田養護学校職員
 埋文センター職員

1 主題 益田市の古墳と勾玉づくり

2 ねらい

- ・ 地域の古墳や出土遺物を通じ、学校周辺の文化財について関心を深める。
- ・ 勾玉作りの体験を通じて、勾玉の持つ意味や古代人の技術の高さに気付かせる。

3 展開

時間	学習活動	指導者の支援	準備物
10:30	1. 講師紹介	・ 講師の先生を紹介する。	パワポデータ資料
	2. 古墳時代とはどのような時代か 益田市の古墳とその出土遺物の学習（埋セン職員） 出土遺物を観察し、時代や特徴、用途について考える。	・ 馴染みのない言葉などは説明を加えたり、写真などで具体的に提示する。	須恵器 土師器 玉類
10:50	(休憩)	・ 手順、準備物などを提示して見通しが持てるようにする。	
11:00	3. 勾玉作り。 ・ 古代出雲の玉作り、玉作体験について説明（埋セン職員）。		パワポデータ資料
11:10	・ 実際に自分で作る。		プリント 玉類
12:00	4. 感想発表	・ 座っている順番で発表をする	勾玉作りセット
12:05	5. 片付け		
12:10	6. 終了		アンケート用紙

4 準備物

(養護学校) 電子黒板、長机1台(遺物展示用)、カメラ、パソコン(パワポ2010)・清掃用具
 (児童) 水入れ、筆記用具、タオル、軍手、体操服
 (埋文センター) 勾玉作りセット、パワポデータ資料(メールにて事前送信)、カメラ、加工具、トレイ、古墳出土遺物 勾玉つくり説明セット